

光雲

平成二十五年
～初夏～

只管く たただた務めるく

新しい年度が始まり、新しい気持ちで生活を迎えられる方も多いかと思えます。お寺も桜や様々な花が咲き乱れ希望に満ち溢れています。

さて、曹洞宗の坐禅は只管打坐(しかんたご)をもつぱらとする坐禅です。只管とはただただの意味で、目的を考えずにただただ坐禅をなさいと云うものです。

「精進」という言葉がありますが、お釈迦様はお経の中で「精進とはポタポタと垂れる水滴が流れつづけて石に穴を開ける様なものだ」と言われております。また、日本は大昔から自然と共に生きてきた国です。特に木材を生活の中で多く使ってきました。古い寺社仏閣はもちろんのこと、木のタンスや茶道具など多くの木製品があり、何十年、何百年たった現在も実用されています。

私は木で出来た製品の素晴らしさ

は、使えば使うほどに輝いてくる点ではないかと思えます。しかも、輝かせようとしてではなく、ただただ使っていくうちに、気がついたら磨かれて輝くようになっていくのではないのでしょうか？現在はプラスチック製品などが多く、一つの物を長く使うことが少なくなってきたように思います。

私達の体も同様に、こまめに体を動かして日々を務めていく。そして毎日を笑顔で過ごすことが出来れば、自然と穏やかな顔になっていくのではないのでしょうか？

最近では天候が急変する事が多い季節です。体調に気をつけてお過ごしください。

住職 合掌



裏山の銀龍草

【坐禅会のご案内】

お寺で一緒に坐禅をしませんか？

毎月第四土曜日(五月二十五日、六月二十二日、七月二十七日)

十六時～十七時頃

【年間行事予定】



一月一～三日	・大般若祈禱会
二月十五日(金)	・涅槃会
三月十七日～二十三日	・春彼岸
三月二十日(水)	・千巻心経
五月八日(月)	・花祭り
七月二十四日	・お地藏供養
八月上旬	・棚経
八月七日～十五日	・お盆
九月二十日～二十六日	・秋彼岸
十二月二十三日(月)	・千巻心経
十二月末	・歳末行事